

BixEnvironmentMarker

取り扱い説明書

目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. BixEnvironmentMarker の概要----- | 2p |
| 2. 使用準備----- | 2p |
| 3. 読み込み方法----- | 3p |
| 4. グラフの見方----- | 4p |
| 5. 設定----- | 5p |
| 6. 継続時間----- | 6p |
| 7. 条件保存----- | 6p |

1. BixEnvironmentMarker の概要

BixEnvironmentMarker は、植物栽培過程の情報を記録した Bix-pp を読み込み、任意の条件で環境を評価するソフトウェアです。

2. 使用準備

JRE のインストール方法

インターネットで java を検索し、日本語版または英語版の公式サイトから JRE をダウンロードします。ダウンロード後、JRE インストーラーの指示に従いインストールを行ってください。



The screenshot shows the official Java website in Japanese. At the top, there's a red header with the Java logo and navigation links: "Java in Action", "ダウンロード" (Download), and "ヘルプセンター" (Help Center). A search bar is also present. Below the header, on the left, is a sidebar with the title "Java のダウンロード一覧" (Java Download List) and a brief description. The main content area is titled "無料 Java のダウンロード" (Free Java Download) and includes the text "お使いのコンピュータ用の Java をダウンロードしてみましょう。" (Download Java for your computer). It specifies "Version 6 Update 30" and features a prominent red button labeled "無料 Java のダウンロード" (Free Java Download). Below this, there are links for "Java とは?" (What is Java?), "Java の有無のチェック" (Check for Java), and "サポート情報" (Support Information). A section titled "Java とは?" (What is Java?) follows, explaining that Java is used for online games, chat, and various applications. It also includes a link for "> Java の詳細" (More details about Java) and a note about downloading Java from java.com.

URL <http://java.com/ja/download/>

Java のサイトを参考にして JRE のインストール、BixEnvironmentMarker を導入したパソコンを用意、パソコンに生産過程の情報を記録した Bix-pp を用意して下さい。

3. 読み込み方法

BixEnvironmentMarker.jar をダブルクリックして起動します。画面上部のファイルをクリックし、Bix-pp 読み込みをクリックします。ファイルチューザーが開きますので、評価したい Bix-pp を選んで開いてください（図1）。読み込みに成功すると、グラフと書いてある部分の下に Bix-pp に記録された環境要素名が表示されるのでチェックしてください（図2）。

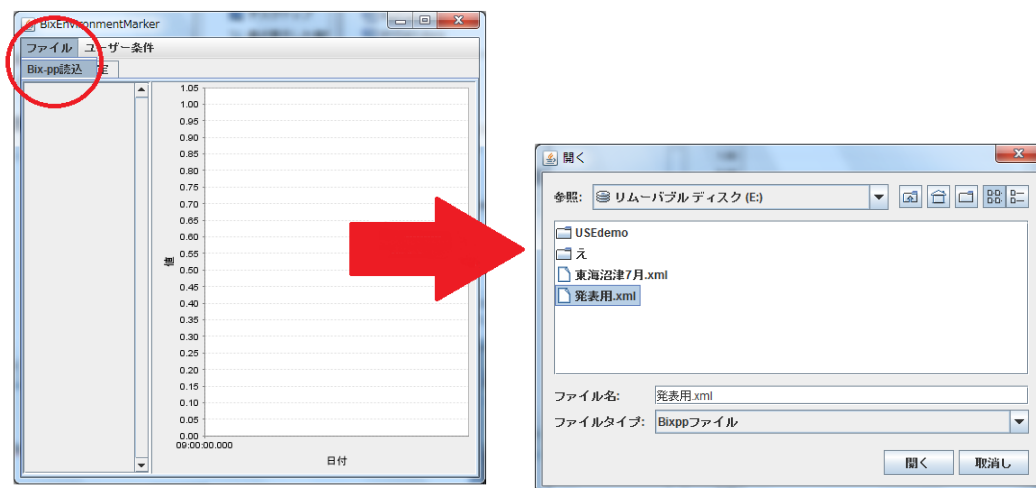


図1 評価したい Bix-pp ファイルを開く

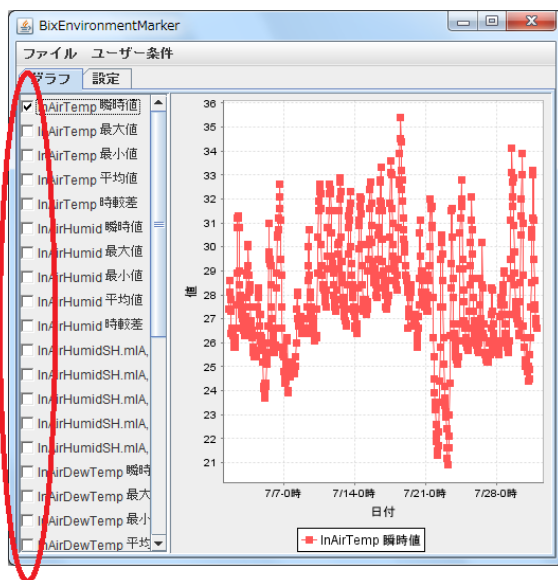


図2 赤い枠の中をチェックする。記録された生産過程がグラフで表示される。

4. グラフの見方

読み込んだ環境要素は、縦軸に値、横軸に日付で表示されます（図3）。設定画面で条件の評価を行うと、グラフ上に網掛けによってマーキングされます（図4）。マーキングされた箇所が任意の条件を満たした箇所となります。また、グラフ上でドラッグするとグラフを拡大できます。折れ線グラフは、左側に表示されたチェックボックスのチェックを外すと非表示にできます。

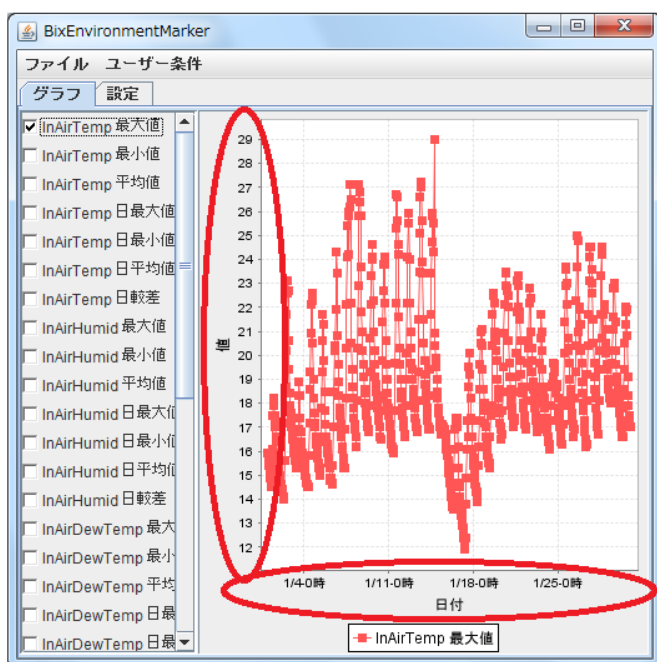


図3 縦軸が値、横軸が日付

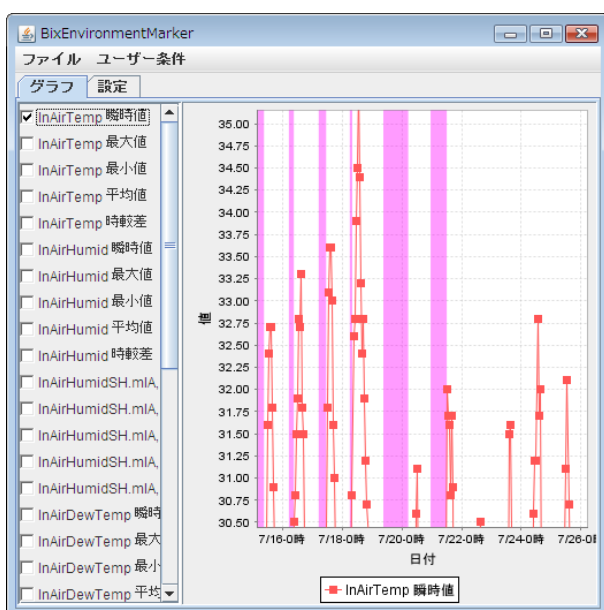


図4 グラフをドラッグで拡大

5. 設定

グラフが表示されたら、設定から必要な環境要素にチェックを入れ、数字を入力し、マーカーをクリックします（図5）。使える環境要素は全部で三つです。プルダウンメニューから選択して、以上、以下、継続時間に任意でチェックして数値を入力します。

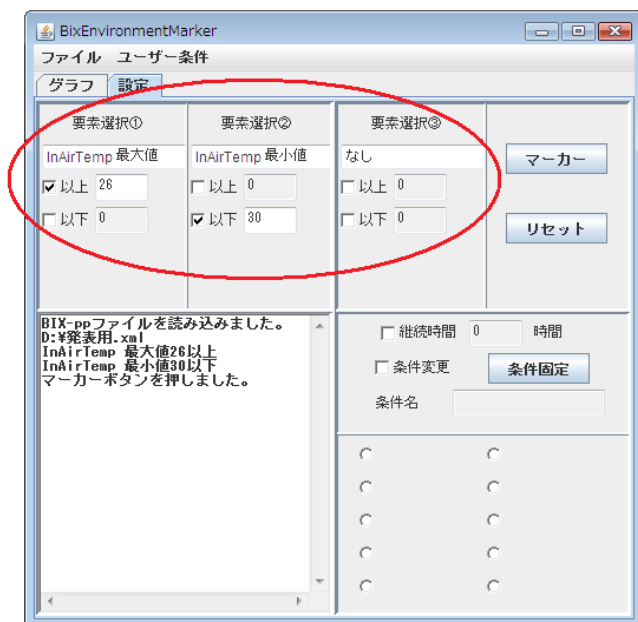


図5 評価したい条件を入力する。画面左下にはログが表示される。

設定で入力した条件がグラフに反映され、マーキングされます。マーキングされた箇所が入力した条件を評価した箇所になります（図6）。

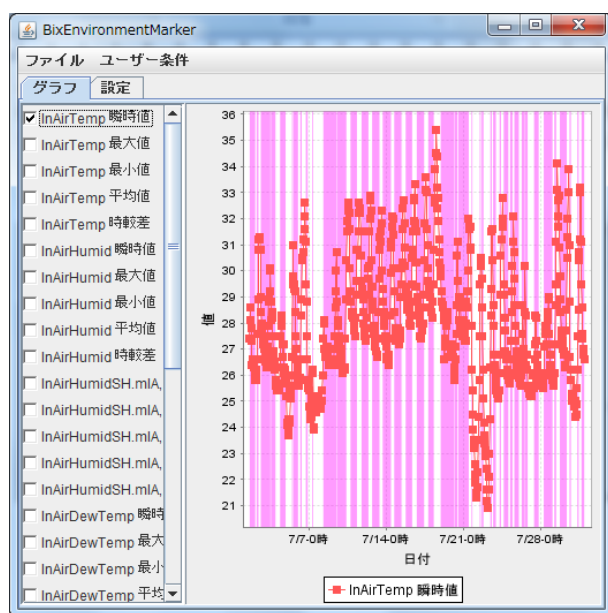


図6 グラフにマーキングされる。

6. 継続時間

継続時間に数値を入力してマーカーを押すと、環境要素で入力した設定が継続時間に入力した数値以上継続した場合、マーキングされます（図7）。

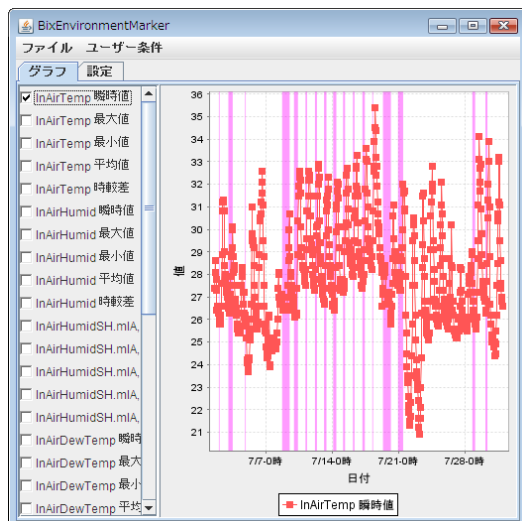


図7 マーキングされた箇所が図6よりも絞られる

7. 条件保存

条件保存とは、設定で数値を入力して条件を評価したものを保存できる機能です。設定画面下のラジオボタンをクリックして条件名を入力し、条件固定をクリックすることで、今設定したグラフと条件に名前をつけることができます（図8）。しかし、**BixEnvironmentMarker** を閉じてしまうと、名前をつけた条件が消えてしまうので、ユーザー条件から csv ファイル保存をクリックして任意の保存先へ保存して下さい（図9）。

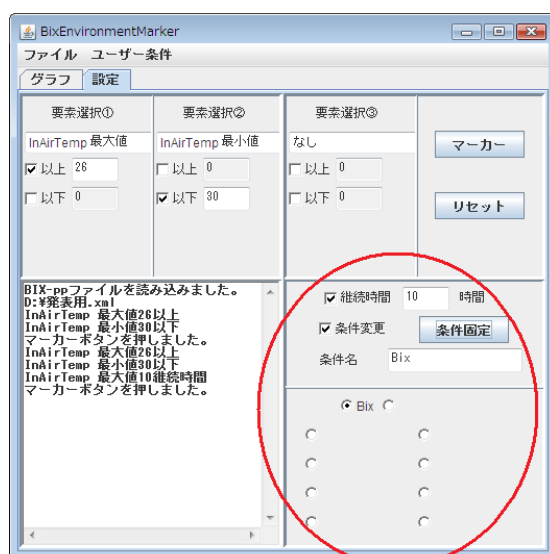


図8 名前をつけた条件が表示される。

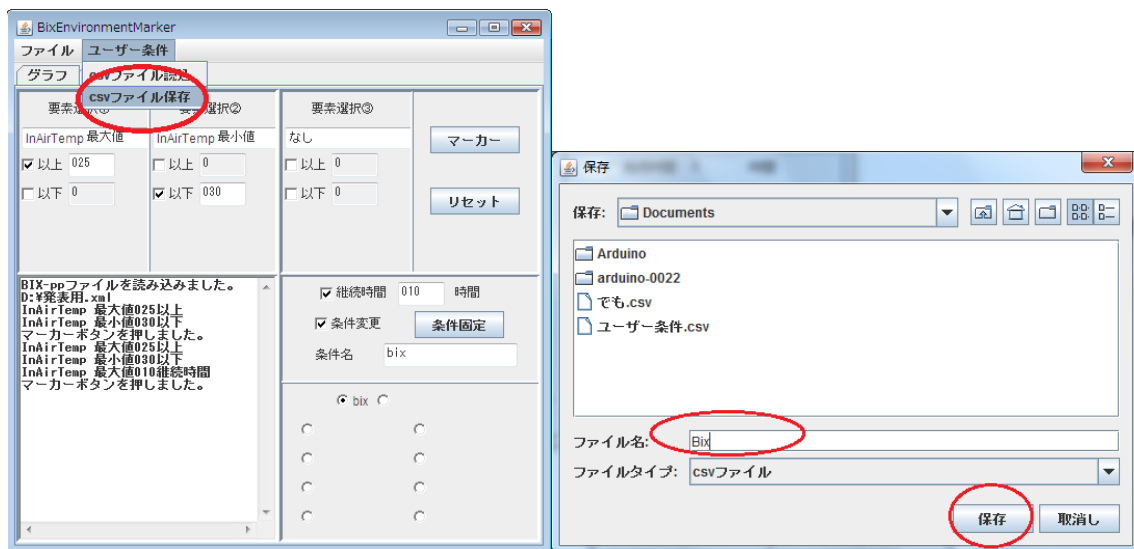


図 9 csv ファイル保存をクリックして任意の場所に保存する。

保存した条件を読み込むには、ユーザー条件から csv ファイル読込をクリックして、名前をつけたファイルを選び、開くをクリックすれば見ることができます（図 1 0）。

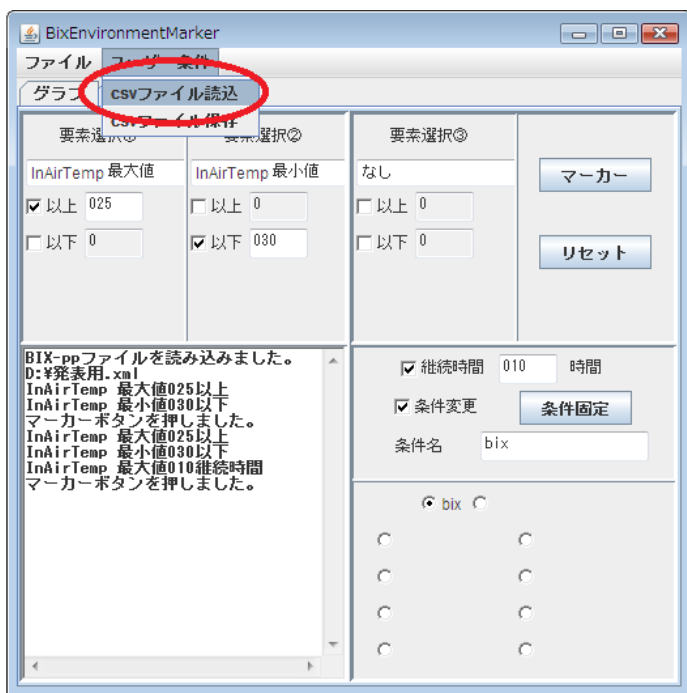


図 1 0 保存した条件を読み込むには、csv ファイル読込をクリックしてください。

学校名：東海大学開発工学部生物工学科

開発者：山梨竜一、大畑亮輔

マニュアル制作者：東海林泰樹

指導者：星岳彦